

会報などがお手元に届くまでの大事な作業をしています！



**会報に同封する挨拶状や総会議案書など、
印刷物は全てこのイングラフィックを使って印刷しています！**



会報を先ず二つ折りにしてから、封筒に入れるために更に三つ折りにします。

会報の紙質から折り機を使えないので全て手作業です。

そして挨拶状などの原稿を作成してから、それを必要枚数印刷して、これも三つ折りにします。これは折り機を使うことができるため短時間で完成します。

例えば総会議案書のようなページ数の多い原稿は、各ページを必要枚数印刷しなければなりませんので、間違いの無いように神経を使います。



そして封筒に西東京市地域支部の発送元を印刷します。

更に宛名シールも別途印刷して封筒に貼り付けます。会員によっては入れる書類が異なりますので、封筒も分けておきます。その後、印刷物の封入作業が始まります。

複雑な作業を一度にすると必ず間違えますので、作業を単純化して隣へ手渡しする方法で封入作業を行います。完成した封筒は、地域の世話役委員の皆さんに間違いなく渡せるように町別に分けて束ねておきます。広報委員の皆さんが作った会報は、このような多くの有志の働きによってお手元に届きます。

未入会の校友の皆さんへの案内状は封入物も多種となるため、作業が複雑で何人ものボランティア会員の時間を使ってなされています。

これらの作業は当事者以外の皆さんには目に見えませんが、会の縁の下を支えている地道な作業と言えるでしょう。特にコロナ感染防止のため、常時マスクをしての作業は中々辛いものがあります。

「ゆめこらぼ」にて 2022年7月2日 撮影